

番号	氏名	抱負
161	対間 博之	平成27・28年度 代議員に立候補した茨城県立医療大学 対間(つしま)博之です。現在、代議員および核医学分科会、医療情報小委員会の委員として核医学領域を中心に学会活動をしております。今後も、各専門領域が協働して本学会が発展するよう、微力ながら貢献できれば考えております。さらに放射線に国民的関心が向いている今日、良質な医療を行うために必要な情報を、会員や国民の皆様にご提供できればと思っております。
162	土橋 俊男	
163	寺澤 和晶	豊富な知識を持った会員とともにエビデンスに基づいた技術を医療に提供すること、放射線技術学における学術活動および研究に関する運営に係わることにより幅広く活躍する地域会員の声を届けたい。そして、迅速で正確な情報伝達に努め、双方向で情報伝達を行えるよう配慮することで地域会員の育成、学会の発展に貢献したい。また、法人の適切な業務運営を確保するための一役を担いたいと考えている。
164	寺田 理希	磐田市立総合病院の寺田です。今回、日本放射線技術学会の代議員に立候補させていただきました。何も分からないことばかりですが、少しでも会員の皆様のお役に立てればと思っております。宜しくお願ひいたします。
165	土井 司	
166	柄原 秀一	日本放射線技術学会では医療情報分科会委員として携わっています。放射線技術学における医療情報分野は、電子カルテ化のシステム構築、依頼情報から画像保管システムまで幅広く関わっています。特に、被ばく線量情報の登録制度から評価システムを本邦でも構築することで放射線検査の正当化・最適化ができると考えられます。そのために、標準コードを用いたシステム構築や研究の手助けを本学会でお手伝いできればと思います。
167	富永 正英	
168	豊嶋 英仁	私は日本放射線技術学会東北部会 役員や秋田県診療放射線技師会 理事に就任してきて、東北地域および地元 秋田県における診療放射線技師の学術的スキルアップに努めてきました。日本放射線技術学会の学術振興には先駆的な点が多くあり、国内における放射線技術学の発展の基盤だと思います。今回、代議員に立候補し、引き続き、地方および国内の学術的レベルアップに努めたいと考えております。
169	鳥居 史子	
170	長木 昭男	放射線技術学会では、核医学分科会の委員として活動しています。今後も核医学技術を中心として会務に励み、また地方会は中四国部会に所属していますので中央と地方の連携に協力したいと思います。よろしくお願いします。